

しろつかこふん 「白塚古墳」

- 指 定 千曲市指定史跡 平成 14 年 1 月 25 日
- 所 在 地 千曲市大字森
- 所 有 者 個人
- 概 要 円墳 直径東西 8m、南北 9.5m
- 時 代 古墳時代（7 世紀）
- 公 開 個人宅地内のため了解を得て見学願います

本古墳は沢山川右岸のゆるやかに北に傾斜している小扇状地にあります。県山南麓山腹にあり、かつて多くの品々を出土した県山古墳や上平に所在した南上平古墳と共に 3 基からなる森古墳群を構成していましたが、すでにこれら 2 古墳は消滅しています。

墳丘規模は現状では東西 8m、南北 9.5m、高さ 3m ですが本来は現状よりかなり大きかったものとみられます。

内部構造は南に開口する閃緑岩の大小の角礫を積み上げた横穴式石室で、両裾式玄室と羨道からなり、羨道の一部は欠落していますが現在長 5.2m、玄室は長さ 3.3m、幅 2.2m、高さ 3.0m です。玄室の平面形は中央でやや張り出す胴張りです。側壁および奥壁は共に持送りもちおくりで積み上げています。

玄門は両裾に裾石すそいしを立て、かまちいし 框石を置いています。天井部は大石 1 枚でほぼ玄室を覆っています。



宅地わきにある円墳